療養費支給申請書(はり・きゅう) 記入例

D被保険者証	記号 987	番号 6543	21	0+477.574	(N) O O (~~	
	(フリガナ) ケンポ タロウ			②事業所名称	(株)〇〇〇〇		
③氏 名	健保	太郎	(押印不要)	④生年月日 個) 平·令 ○○年(ОЯ О⊟	
□ 〒 1 ⑤住 所 ·····	₹110 -0000	10-0000 東京都墨田区○○			090 (1234) 0000	
OH M	1-2-3 🔲	1-2-3 □□マンション×××号			⑦提出委任 本申請書の提出を事業主へ依頼します。 (事業主経由(依頼)する場合は √)		
意ください】 家族(被	扶養者)の方の療養費で	あっても、被保険者情報の欄	には、被保険者の	氏名、生年月日、住所な	さどをご記入ください。		
8金融機関名称 -	0000	銀行 金庫・信組 農協・その他()	1234	⑨預金種別 ▼	普通 📗 当座 📗	その他()	
②金融版镁石桥 一	$\Delta\Delta\Delta\Delta$	支店 本店・出張所 その他()	ュード番号 567	⑩口座番号	1234567		
①口座名義 (カタカナで記入)	ケンポータロ	ロー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		⑫口座名義区分 ✔	被保険者(申請者)	代理人	
3公金受取口座	□ マイナポータル等で事	5前登録した公金受取口座を	·利用します。(<u>利</u>)	用する場合は、上記の口	座情報の記入は不要で	<u>す。</u>)	
	(A)被保険者 本 ⁶	ョ請に基づく給付金に関する ³	受領を代理人に委	任します。	令和 年	月 日	
口座名義が代理	(申請者) 氏名						
人の場合にご記 入ください。	住所 ⑤代理人	664-1441 住所					
)	(口座名義人)						
16受診者	被保険者	家族(被扶養者)		①第三者行為に 、		いいえ	
(どちらかに √) ®家族の場合は	氏名	J sationed to					
その方の 19傷病名				20発病又は負傷年月		8月 2日	
	1. 病気 日常生活における疲労の積み重ね					-	
②発病の原因 および経過	「						
	名称 〇〇				②施術者氏名		
②施術を受けた施術	所	所在地 東京都台東区△△ ×-×			②施術に要した費用 メ、メメメ 円		
②施術期間	平分〇年	8月5日から	平 令 O		,,,,,,,	3 ∃)	
(支給期間)	氏名	住所		同意年月日	傷病名	要加療期間	
同意医師	ΔΔ ΔΔ		(-×-×	令和○年8月3日	頚腕症候群	3か月	
再同意医師				1101010	9,700,201	04 /4	
	テ為による場合は、健康係	- L - R - R - R - R - R - R - R - R - R - R	-1457)ください。				
_	_		_				
甲請書は2枚1セット	です。2枚目の「はり・1	きゅう施術者記入用」も必ず	こ提出ください。		ver /1.		
イナンバー記入欄(<u>被保険者証の記号番号を記入した場合は記入不要です。</u>) 受付日付印							
3		マイナンバーを記入した場本人確認をするための添					

記入もれや誤りが多いところ(特にご注意ください。)

- ② 対象者が家族(被扶養者)の場合でも、被保険者の氏名などの情報をご記入ください。 被保険者が亡くなられて、相続人の方が申請される場合は、申請される方の氏名をご記入ください。 (住所、振込先口座も同様です。)
- ③ マイナンバーとともに国に登録している公金受取口座を振込先にする場合は ✓ を付けてください。 (被扶養者でない方や受取代理人は、公金受取口座を振込先に指定できません。)
 注:マイナポータル等で口座情報を登録・変更した場合、情報が反映されるまでに数日を要します。
- 4 口座名義が被保険者(申請者)と異なる場合は、「委任状」欄の記入が必要です。 なお、代理人(口座名義人)が当組合の加入員でないときは、続柄のわかる書類(戸籍謄本、住民票 など)の添付が必要となります。
- **⑤** 「はい」と答えた場合は、別途「第三者行為による傷病届」の提出が必要となります。 詳しくは、当組合(03-3843-1457)にお問い合わせください。
- 6 対象者が家族(被扶養者)の場合は、氏名、生年月日、戸籍上の被保険者との続柄をご記入ください。
- 健康保険扱いで、はり・きゅうの施術を継続して受ける場合は、6か月に一度、必ず医師の再同意が必要となります。
- 3 ●の被保険者証の記号及び番号を記入した場合、マイナンバーの記入は不要です。
- 注: ご記入いただいた内容を訂正する場合は、二重線で抹消し、正しい内容をご記入ください。 (二重線には、どなたが訂正したかわかる訂正印(又はサイン)が必要となります。)
- 注:この申請書を事業所(事業主)経由で提出される場合は、「被保険者情報」欄の「提出委任」に 🗸 を付けてください。

添付書類 注:同意書、再同意書の交付に当たっては、医師による診察が必要となります。

領収書の原本	患者氏名、施術日、診療に要した費用の全額を自己負担していることが確認できる領収書(はり・きゅう 師の領収印があるもの)の原本			
医師の同意書 (施術報告書)	初回 適当な治療手段がなく、はり・きゅうの施術を受けることを認める医師の同意書の原本 6か月ごと 6か月を超えて引き続き施術が必要な場合は、診察を受けた医師からの再同意書の原本と 再同意に当たり、はり・きゅう師から交付された施術術報告書の写し			
往療状況確認書	往療の施術を受けた場合に原本の添付が必要となります。			
施術継続理由・ 状態記入書	初療養の日から1年以上経過し、かつ、月に16回以上の施術を受けた場合に原本の添付が必要となります。			

この申請書は **2枚1セット** です。2枚目の「はり・きゅう施術者記入用」も必ずご提出ください注:初回(1回目)の申請時には、同意書(医師の同意書とは別)もご提出ください。